

編集後記：本号がお手許に届く頃には、秋風もたち、だいぶ過ごしやすくなっているのですが、この原稿を書いている7月末現在は、連日猛暑が続いています。関東地方では、この冬以来の少雨のため水不足が深刻となり、市営プールも営業を中止している所が多く、子供たちにはうらめしい夏になりそうです。先日は、電力需要が急増して供給が追いつかず広い地域で一時停電するという事故も起き、人工的な気候を作り出したかに見える大都市の気象に対する脆弱性を見せられた思いがしました。

ところで、熱帯太平洋では1982/83年以来4年ぶりのエルニーニョが進行中です。今回のエルニーニョは、昨年春先に発生の兆しを見せながら夏になって一旦流産したかに見えるものの、秋になって再び復活し本物のエ

ルニーニョへと発展したという経過をたどりました。海面水温偏差は $+1\sim 2^{\circ}\text{C}$ と、今世紀最大と言われる82/83年の時に比べるとあまり大規模なものではありませんが、全球的に大きな影響を与えていることは疑いありません。北アメリカでは、この冬以来中西部で高温、南東部で低温多雨の傾向が続いていますし、ヨーロッパでは、東欧を中心として低温と悪天が続いています。「天気」では、このような状況を皆様に速報的にお伝えすべく、5月号より500mb天気図と合わせて世界の天候の概況を掲載しております。「天気」では、このようなカレントな情報をどんどん取り入れ、より良いものにしていきたいと考えています。ご意見・ご感想を編集委員会宛にお送り下さい、お待ちしております。(吾)